

題字は松井岳洋筆

No. 406
平成 23 年 3 月

発行
財団法人詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 内山岳青

編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL]http://sekishin.holy.jp

一体何者だ

企画部・75推進部々長 角田 有風

企画部・75推進部々長を拜命した角田有風です。在職時臨海工業地帯の石油化学コンビナート、化学繊維工場、火力発電所・原子力発電所等の設計を軸にした建設部門が職場でした。ある時上司の気紛れで突然工事監督の辞令を受けました。現場着任時「角田って一体何者だ」



で迎えられました。当然です。工事でない私に対する認知度は現場作業員には殆ど無かったからです。碩心会でも同様ではないかと思えます。葉山地区の皆様とは慰問、四支部合同の忘年会等でご一緒する機会があります。逗子地区の皆様とは大会でお会いする程度で、認知度は希薄と思われます。しかし役を引き受けた以上皆様の力を頂き頑張る覚悟ですのでよろしくお願い申し上げます。

教務部の役割を意識して

教務部長 小菅 岳倅

昨年の10月、教務部長を拜命しました。受けるからには「全力を尽くして」と心に誓い、早速師範研修会の会場予約から開始しました。大坪・根岸副部長の協力のもと、行事を一つずつ進めています。教本・パッチ等の仕入れ及び販売。夏季吟道講座・師範研修会の立案、実施等。碩心の目的を達成するための吟技の向上や会員数の増強に直結する大変重要な仕事を担当することになったと認識しています。吟技や人格の優れた人のところには自然に人が集まります。指導者の人格と吟技の向上、会員一同が健康を維持し、楽しく詩吟が継続できるよう、微力ながらお役に立ちたいと思います。



「精神一到何事か成らざらん」の気持ちで頑張りますのでよろしくお願いいたします。

普及部長を拜命して

普及部長 市川 岳穂

碩心会会則才三条（目的）は吟道の普及、練磨と記されている様に会員の増加は碩心会の大きな目的となっています。今迄普及部は



吟体験教室を实践してきましたが、今後も新しい施策を考えて行き会員全体で

目的を共有して初めて徐々に成果が発生すると確信しています。新しいスローガンは「みんなを増やそう新会員」です。

一人一人の会員が親戚、友人、地域コミュニティの中で仲間を声をかけ、また町内会の中で詩吟の良さや素晴らしさをアピールして行きましょう。会詩「碩心会の詩」の最後にこのスローガンを付け加えたい気持ちです。もともと古い歴史のある会程もつとも多くの変革を実践しなければ生き残れないと言われています。会員減少の時代の今、最後まで生き残る為「みんなを増やそう新会員」

“みんな”で増やそう新会員

行事予定

碩心会春季昇伝段審査会 (月日変更)	日時	4月16日(土)	受付午前9時30分
場所	葉山町福祉文化会館大会議室		
詩吟体験教室 Lets SHIGIN	日時	4月23日(土)	午後1時～午後3時
場所	葉山町立図書館・2階ホール		
返子市詩吟詩舞連盟春季大会	日時	5月8日(日)	開会午前10時
場所	返子なぎさホール		
神静地区吟詠大会	日時	5月15日(日)	開会午前10時
場所	三島市民文化会館		
神奈川岳風連合会青少年吟詠大会	日時	6月12日(日)	
場所	レイ・ウエル鎌倉		
神静地区師範吟詠大会及び講習会	日時	6月18日(土)	開会午前10時
場所	小田原市民文化会館		
碩心会温習会	日時	7月3日(日)	
場所	葉山町福祉文化会館大ホール		
碩心会夏季吟道講座	日時	8月21日(日)	
場所	葉山町福祉文化会館大会議室		

尚歯会神奈川吟道大会

2月19日(日)、尚歯会神奈川吟道大会が横浜 市鶴見公会堂で開催されました。
 県下19団体約600名が出席、9時30分会場となり、短時間で満席となり、通路も席を確保できない人で混み合っておりまして。
 碩心会から25名(男性15、女性10)が独吟、合吟に出席しました。

尚歯会はかつて行われていたものを岳風会で再興するため70歳以上の会員を出吟対象として計画されたもので、両3年のうちに全国大会も視野に入れているとのことでした。

「尚」はたつとぶ「齒」は年令のこと、高齢者を尚ぶ意味をもっています。 人見

レッツ詩吟盛会実施

2月26日(土)午後1時から2時間、葉山町図書館で鴨原隆風先生による詩吟体験教室が、詩情溢れる美声のもと27名(内初心者3名含む)の参加を得て盛会に行われました。

漢詩の部では頼山陽作「母を憶う」が総本部パンフレットに基づき行われ、「素読」については、普段話す時と同じ高さで吟詠とほぼ同じ節調でなめらかに素読する。「吟題も吟の内」と言われるように吟題も確実に発音する。吟上達のためには上手な人の吟を何回

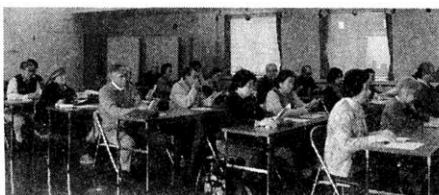
も聞くことと思っている旨がありました。

吟の開始は伴奏音が一番高くなったところで吟題・作者を言い、1・2の3で吟を開始しています。「秋風」の五言の落として、風の最後の「う」の音を上げるようにして落とすようにしています。「吹いて」は3回出てきますが、「ふ」にアクセントし「い」にアクセントしないよう注意がありました。

和歌の部では昨年「吟詠教本和歌篇」発刊に伴い、詩の切れ目を示す「区切れ」が採用され、以下二句切れについて昨年の総本部夏季吟道講座で教育を受けたものです。

初めに菅原道真作「流され侍りける時、家の梅の花を見侍りて」(上集・26)について説明

があり、区切りが3区から2区になったため「東風吹かば」「梅の花」「主なしとて」の引き部分を伸ばさないよう詠ずる。次に若山牧水作「白鳥は」があり、同じく2句切れのため「白鳥は」「空の青」「うみのおおにも」の引き部分は伸ばさないよう注意がありました。



詩吟体験教室に参加された皆さん

高見

日本・中国親善大使

金星花さん渚教室を訪問

去る2月15日(火)、金星花さんは吉林市で行われた日本語弁論大会で優勝し日中親善大使として逗子市を訪れており、逗子市新宿会館において行われた渚支部の詩吟教室を訪れ、教室の皆さんと一緒に詩吟の勉強をしました。



教場長である内山会長より歓迎の挨拶と碩心会についての説明等があり、原田義岳さんの先導により全員で「碩心会の詩」の合吟が行われ、随行員の韓瑞さんが中国語で詠んでくださり感激！「寒梅」「楓橋夜泊」「易水の送別」「静夜思」等、内山会長より講義を受けながら合吟、内山会長から指名され角田有風さんが「易水の送別」、私は「静夜思」を吟じましたが、お2人がとても喜んで下さりホッとしました。中国語での読みも聞く事ができ、お2人との交流も深まり有意義な時間を過ごすことが出来ました。最後に李白の「友人を送る」を勉強、全員で心をこめて合吟し、お2人をお送りする吟としました

が、とても短く感じられた2時間でした。

現在中国では日本と同様に、漢詩を作り鑑賞する人々が減少しているとの話を韓瑞さんより伺い原因を尋ねたところ、国語である北京語学科では教えているが他の学科では学ぶ事が出来ず、漢詩に触れる機会が少なくなつたのが原因ではと話しておられました。このような現状を中国ではどのように捉えているのか気がかりです。

今回の交流を通じ詩吟を学ぶ事により得られた楽しさ、快さを将来に伝えて行きたいと思えました。

湘南葉山ダイケアクリニック

“デイサービス”を慰問

好天に恵まれた1月26日(水)、去年3月、7月に引き続き3回目の訪問を葉山地区長、加藤岳美さん主導のもと行われました。

新年の訪問でしたので「富士山」「初夢」「神州」後半は「冑山の歌」「奥飛驒慕情」「相生舟」等、吟詠と詩舞をごらん頂き、日ごろ医師の管理のもと社会生活に復帰できるような治療と訓練等を受けている通所者の皆さんですが、前回の訪問を覚えていてくださり喜んで下さる方、昔碩心会で詩吟を稽古してましたとおっしゃる方は終始一緒に声を出し詠じている姿に感動しました。

伊藤

吟詠と詩舞の集いを終えて

監事 森 岳 観

昨年の「吟詠と詩舞の集い」のプログラム第7部で詩吟詩舞の楽しさを広く地域の皆様を知ってもらおうと共に、会員以外の人の入場を考え市民サークルで活躍している方とのジョイントコーナーを企画いたしました。

まず逗子市発行のガイドブックに掲載されている中から拾い出しメモをし、体育系は逗子体育館の受付窓口で、私共と一緒にボランテアで参加してくれそうなグループを尋ねたところ、他にも登録しているサークルがあり電話で手探りで始めたのです。何力所か打診し、空手の聖空会さんが、花元会長の連絡待ちをしていたところ幸いにも快く引受けて下さり、先生が「やるからにはきちんとしたもの」ということで打合せ、吟合せを實現し当日は見事な形演武を披露して下さいました。コーラスは、随分無理なお願いをしましたが、30数名の多くのメンバーが出演、花を添えていただきました。

書道、俳句の両者とも初舞台と感じさせない出来ばえで、青木岳紅さんにもお骨折り願いました。皆様熱演して下さい、それぞれの道への情熱の意気込みの深さに感動し感謝の一日となりました。

支部紹介

真名瀬支部の近況

真名瀬支部 守屋悦岳

真名瀬支部は発足して5年、鎌倉と真名瀬の2ヶ所に教室があります。

生徒は10名、大学生から74才までの幅広い年代で若い方の多い教室です。鈴木岳賢先生は仕事も現役、主婦業と大変ですが教室では自分も勉強と一生懸命頑張っております。

年間行事として毎年8月に鎌倉宮にて行われる奉納吟に参加させて頂き神殿に向かつて立ち、吟ずるのはとても厳かで心洗われ清々しい気持ちになります。終わつた後は直会、そして鎌倉宮の広場で盆踊りの輪の中に全員で入り踊りを楽しみ、身も心も清められ帰宅します。

忘年会は食事会とカラオケで楽しみ、3月には会計報告の後、反省会が行われ食事会、カラオケ等楽しく過ごします。



本年2月1日 鎌倉の教室にて

平成 23 年【碩心会初吟会】 会計報告				平成 22 年度 吟詠と詩舞の集い 会計報告			
	科目	金額(円)	備考		科目	決算額(円)	摘要
収入の部	前期繰越金	3,131		収入の部	大会補助金	86,000	本部補助金・地区費
	参加費	608,000	152名×4,000円		出吟料	168,000	168名×1,000円
	雑収入	4,000	新総伝者4名より御祝儀		懇親会	129,000	129名×1,000円
	合計	615,131			雑収入	2,100	弁当700円×3個
支出の部	飲食代	531,205	お弁当152名×2,000円 飲物代	支出の部	会場費	78,740	ホール・大会議室使用料・暖房費
	式典・懇親会	42,050			プログラム・収め	8,503	用紙・印刷費・コピー代
	参加費	13,159	余興参加費		保険料	2,560	168名
	保険	3,926	傷害保険		会議費	9,186	ジョイント関係打ち合わせ
	事務・通信費	12,105	コピー・FAX・文具・事務連絡等		飲食代	242,947	弁当・飲物代 他
	会議費	4,650			雑費	39,920	ジョイントお礼 他
	交通費	5,000			地区費	2,940	コピー・郵送料
	次期繰越	3,036	企画部預かり		繰越金	304	
合計	615,131		合計	385,100			

編集後記

漢詩の故郷中国より上野動物園に来た可愛らしい「親善大使」「リカ」と「真真」は数年前に大震災を受けた四川省成都から遙遠日本にやって来ました。東北関東大震災の被害を受けた人々の心の支えになり、一日も早い復興の一助になればと願って止みません。

広報部

23年3月1日現在	会員数
葉山地区	119名
逗子・大船地区	97名
合計	216名

会員のうごき

*入会

221 田嶋 正子(東伏見)
鎌倉市七里ヶ浜東4-6-16
☎ 0467-33-0616 紹介者 大内翠岳

*退会

149 長田富山(真名瀬) 189 矢島富美子(真名瀬)
193 久保田博是(長柄) 196 森永 節子(真名瀬)
210 五十嵐純子(篁風)

*支部長変更(真名瀬支部)

81 守屋悦岳 → 76 葉山壽岳

*教場変更(吟秀支部)

坂本町内会館 → 横須賀市立総合福祉会館